

日塩有料道路について

○日塩有料道路について

日塩有料道路は、日光市の鬼怒川温泉エリアと那須塩原市の塩原温泉エリアを結ぶ、標高1,000mを超える高原道路です。昭和40年代に観光需要の広域化が進み、両地区を結ぶ道路の必要性が高まったことから、昭和45年に工事着手し、昭和47年に現在のもみじライン区間が有料道路として開通しました。

その後、沿線にスキー場等の立地が増え、利用者によるアクセス道路の渋滞が生じたため、もみじラインに接続する国道121号のバイパスを整備し、平成14年に龍王峡ラインとして開通しました。

日塩有料道路は、これまで栃木県道路公社が管理していましたが、令和2年12月10日（木）をもって料金徴収期間が満了となることから、翌日12月11日（金）から通行料金を無料とした上で、栃木県が（主）藤原塩原線として管理を引き継ぎます。

【概要】

- ① 延長：L=30.3km（もみじライン：27.5km、龍王峡ライン：2.8km）
- ② 建設費：約51億円
- ③ 供用開始日：もみじライン：昭和47年10月1日
龍王峡ライン：平成14年3月25日
- ④ 交通量：1,656台/日（令和元年度 料金徴収時間帯の平均値）
- ⑤ 料金徴収満了日：令和2年12月10日



日塩有料道路 位置図